

2020年度 第5回 理事会 抄録

日時：2020年7月5日（日） 9:30～11:20
場所：WEB会議
出席：理事：半田、内山、斉藤、森本
網本、大淵、小川、梶村、清宮、黒澤、佐々木、白石、大工谷、高橋（哲）、
高橋（仁）、田中、谷口、友清、中川、藤澤、松井、山根、吉井
監事：太田、長澤、辺土名
欠席者 理事：なし
監事：なし

I. 審議事項

(全5題)

1.第57回日本理学療法学会学術研修大会 in 富山 開催日程の変更について (斉藤副会長、酒井泰会長)	承認
第57回日本理学療法学会学術研修大会 in 富山 開催日程について、前日準備のための会場利用ができないことが判明したため、日程変更の依頼があり、承認された。 なお、承認後の日程は2022年7月9日（土）・10日（日）となる。	

2. 臨時総会の日程等について (半田会長)	承認
新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、第49回定時総会は必要最低限の内容のみの決議とし、十分な討議が必要な内容については臨時総会にて決議することとしていた。 ついては、法人法第38条の定めるところにより、2020年度臨時総会日時及び場所について以下の通り承認された。開催時間については再度検討される。 日時 2020年10月11日（日） 場所 ベルサール汐留 地下1階 なお、臨時総会開催までのスケジュールは以下を想定している。 8月1日（土）：組織運営協議会（対面）@大阪 8月2日（日）：理事会（対面）@大阪 9月12日（土）：理事会（対面）@六本木 10月11日（日）：臨時総会（対面）@汐留 【主な意見】 ・取り扱う議題は何を予定しているか。 →組織体制の強化、学会法人化、代議員定数の変更等を予定している。 ・東京、大阪での感染者数が増えてきているので、今後の動向によってはWeb方式にせざるを得ない可能性もある。 ・新型コロナ対策本部の活動報告を追加するならば、11時からの開催としてはどうか。	

- ・例年は9月に事務局長会議があるが、今回はなしとなるのであれば、あらかじめ組織運営協議会の議案などを提示してほしい。
- 8月開催なので早めに提示したい。
- ・新型コロナ対策本部のスケジュールに、10月の組織運営協議会にある程度の報告をすると記載されているが、これは総会への提示に変更するのか。
- 臨時総会で相談・報告させていただく。
- ・すでに予定が入っている理事もいると思うので、WEB参加などの配慮をいただきたい。

3. 懲戒委員会委員の推薦について

(半田会長)

継続審議

懲戒規程第3条第1講第2号の定めるところにより、懲戒委員会委員として理事会が推薦する会員2名について審議され、意見をふまえて8月開催の理事会に再提出することとなった。

【主な意見】

- ・さまざまな事案が出た場合にその内容に適切な委員であるかを踏まえて今後検討いただきたい。
- ・理事会が決定することとなった場合、処分の通知者は理事会になるのか。
- その点についても総合的に検討する。

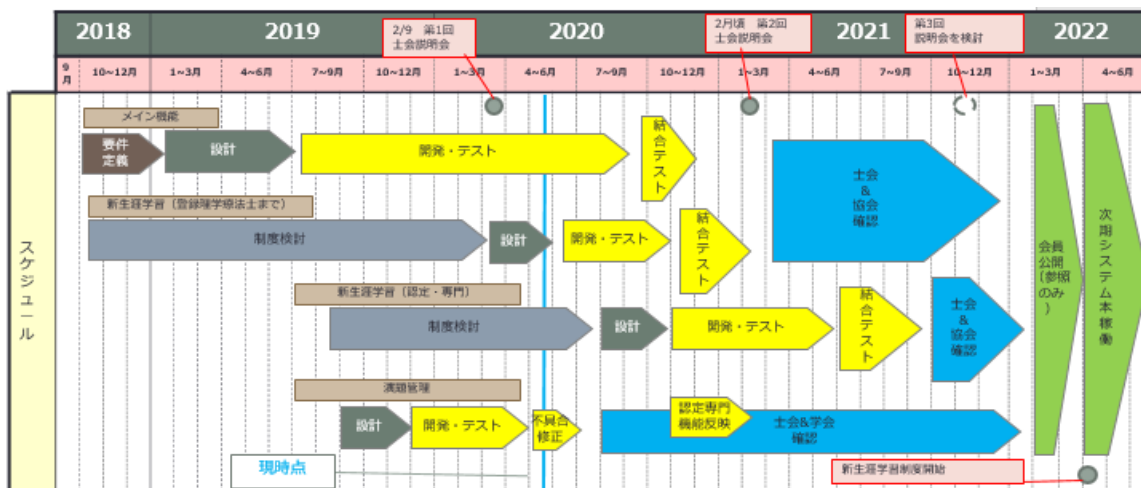
4. 次期システム構築のスケジュール変更について

(半田会長)

承認

新生涯学習制度の開始時期を2022年度とすることが決定したことをうけて、次期システムの会員管理機能の利用開始時期について、先行開始・同時開始それぞれのメリット・デメリットを踏まえ、同じ2022年4月1日からとすることについて審議され、承認された。

【見直し後のスケジュール】



【主な意見】

- ・提案のプロセスについて、次期システム構築執行委員会で詳細を検討した結果、本案が適切だと判断し、それを専務理事が代理で提出しているのか、もしくは次期システム構築執行委員会が常任理事会に報告し、常任理事会が適切だとしたものが提出されているのか。その説明を記載すべきではないか。
- 次期システム構築執行委員会で議論し、常任理事会でも検討したうえで提出している。

5. 新入会員の承認について (半田会長、内山副会長、斉藤副会長、森本副会長)	承認
<p>2020年4月17日～2020年6月15日の間、新たに申請をした正会員 2,934 名の入会について承認された。また、復会者 187 名、休会者 425 名、退会者 109 名、賛助会員入会 2 社であったことが併せて報告された。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none">・新型コロナの影響で、今年度の入会率が落ちているが、新型コロナウイルス感染症対策本部として対策を検討しているのか。→士会の対面での新人教育が入会の機会となっていたことを改めて実感している。組織等統括の大工谷専務理事から研修開催に関する基準を提示している。→学会に協力してもらって動画の作成なども進めている。→広報として、早期入会者への e-ラーニング無料視聴の対象期間を 5 月末から 7 月末に延長している。	

II. 報告事項

(全16題)

<p>1.2020年度第1四半期職務執行状況報告 (半田会長、内山副会長、斉藤副会長、森本副会長、大工谷専務理事、網本常務理事、梶村常務理事、黒澤常務理事、白石常務理事、高橋(哲)常務理事、吉井常務理事)</p>	承認
<p>2020年度第1四半期職務執行状況報告がなされた。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入職員研修ガイドラインについてコロナ禍の影響をうけて、電子媒体での配信を検討していただきたい。 →できるだけ早急に対応する。協会HPにも掲載できればと考えている。 →機能課で配信している「管理者ネットワーク」を活用することもできるので検討してほしい。 ・フレイル予防と介護予防の違いは？ →「高齢者の保健事業と会議予防の一体的な実施」でフレイル予防という言葉が出てきているので、そこを突出させて出している。地域ケア会議推進リーダー等のなかに収めていく予定。 →会員は頑張っていて地域ケア会議推進リーダーなどを取得しているので、整合性を取って進めていただきたい。 ・理学療法士の職域がリハビリテーションと介護(振興課・老健課)に分かれている。9団体の会議では医師の指示の下ということ強く言われることが多い。理学療法士が機能訓練指導員として起用されていることが多いが、医師の指示の下でなくてもよい場合でも指示を求められることが多いことについてどのように考えるか。 →機能訓練指導員については3団体で要望を出していくしかないが、出し方については検討する必要がある。 →要介護者等に対するリハビリテーションサービス提供体制に関する検討会に参加したが、言葉の整理がなされていないという話になっている。 ・介護予防の現場で、コロナ禍による事業停止で利用者にマイナスの変化が生じている。介護予防の効果が逆にコロナ禍の影響で明確になっているのではないか。 →新型コロナ対策本部で検討を進めている。 →自治体などに提示すると喜ばれるデータになると思う。 	
<p>2. 新型コロナ対策本部の実施事業ならび予算について</p>	(半田会長)
<p>新型コロナ対策本部の事業計画ならびに予算上限について報告された。</p> <p>【主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人員削減の懸念が出てきている。6月から経営がもとに戻ると期待していたが状況が継続、コロナ流行が広がっている。来年の就職は非常に厳しいものとなる見込み。 	
<p>3. 役員報酬等委員会への諮問について</p>	(半田会長)
<p>常勤役員の要件、勤務形態、報酬等について、役員報酬等委員会へ諮問することについて報告された。</p> <p>【主な意見】</p>	

・ 諮問することになった経緯について説明してほしい。
→この先、組織体制の変更等が議論される場所であり、新執行体制が変わるときにあわせて、役員の業務執行のあり方、常勤・非常勤の定義など、報酬以外の点も含めて委員会に議論してほしいと考えている。
→別表の係数などがわかりにくくなっている。

4. 「新人理学療法士職員研修ガイドライン」(最終版) について (白石委員長)

「新人理学療法士職員研修ガイドライン」(最終版) について報告された。

5. 2019年度認定・専門理学療法士(新規・更新)申請の審査結果について (斉藤副会長)

2019年度認定・専門理学療法士(新規・更新)申請の審査結果について報告された。

- 専門理学療法士(更新) ※延べ人数
申請者数: 208名、合格者: 174名、不合格者: 34名
- 専門理学療法士(新規) ※延べ人数
申請者数: 80名、合格者: 24名、不合格者: 56名
- 認定理学療法士(更新) ※延べ人数
申請者数: 810名、合格者: 766名、不合格者: 44名
- 認定理学療法士(新規) ※延べ人数
申請者数: 3,535名、合格者: 3,214名、不合格者: 321名(6月4日時点)
※7月31日に再試験実施のため、変動予定。
累積数は、専門理学療法士 1,480名、認定理学療法士 10,277名である。

6. WCPTサブグループの年会費の取り扱いについて (高橋(哲)常務理事)

WCPTサブグループの年会費の取り扱いについて報告された。

7. WCPTサブグループ、International Association of Physical Therapists working with Older People (IPTOP)、International Neurological Physical Therapy Association (INPA)の登録の変更について

(高橋(哲)常務理事)

WCPTサブグループ、International Association of Physical Therapists working with Older People (IPTOP)、International Neurological Physical Therapy Association (INPA)の登録の変更について、以下の通り報告された。

International Association of Physical Therapists working with Older People (IPTOP) 1,000名
International Neurological Physical Therapy Association (INPA) 2,000名

8. 2020年度研究助成の採択結果について

(高橋(哲) 常務理事)

2020年度の研究助成について、研究推進委員会における一次審査および二次審査の結果を踏まえ、学会運営審議会にて下記のとおり採択を決定したことについて報告された。

【公募期間】2020年1月30日(木)～2月17日(月)13時(応募フォームより受付)

【申請件数】A 指定研究助成 43件
B 一般研究助成 66件 合計 109件

【採択結果】A 指定研究助成 10件 7,367,500円
B 一般研究助成 7件 2,474,000円

2020年度助成金額総合計 9,841,500円

9. 専従役員行動録について

(半田会長、斉藤副会長、大工谷専務理事)

専従役員の5～6月分の行動録について報告された。

10. 事務局報告について

(大工谷専務理事)

5～6月の事務局報告がなされた。

11. 予防理学療法の確立を目的とした大規模臨床研究に対する研究助成_2次グループ研究期間延長申請について

(高橋(哲) 常務理事)

予防理学療法の確立を目的とした大規模臨床研究に対する研究助成_2次グループ研究期間延長申請について報告がなされた。

12. 「リガラボ」の運用実績について

(吉井常務理事)

「リガラボ」の運用実績について報告がなされた。

13. 懲戒処分について

(半田会長)

2019年度上半期の会員不祥事案件に対する懲戒処分について報告がなされた。

14. 日本理学療法学生協会活動報告について

(半田会長)

日本理学療法学生協会より提出された2019年度の活動報告ならびに助成事業実績報告について報告がなされた。

15. 常任理事会 会議報告（5月9日） （大工谷専務理事）

5月9日に開催された第2回常任理事会の結果について報告された。議題は以下の通り。

協議事項：

1. 第49回定時総会の進行について
2. 理学療法白書2020の企画案について
3. 日本理学療法学会学術研修大会の英語表記について
4. 非常事態宣言を受けての本会の今後の方針について

報告事項：

1. 土会による台風19号に係る災害支援活動費の支援について
2. 事務総合職員（正規職員）採用について
3. 資金繰りについて

16. 常任理事会 会議報告（6月6日） （大工谷専務理事）

6月6日に開催された第3回常任理事会の結果について報告された。議題は以下の通り。

協議事項：

1. 顧問の報酬について
2. 2020年度 理事会等諸会議日程の変更について
3. 新しい生活様式に沿った事業運営指針について
4. WCPT サブグループの会員登録および会費支出について
5. 2021年度 予算編成にあたっての方針の事前協議について
6. 理学療法白書2020年度版の企画（案）について
7. 2020年度職員人事案について

以上